

安全データシート

作成日：2020/03/05

改訂日：

1. 製品及び会社情報

製品名	Alinity m SARS-CoV-2 コントロール (Alinity m SARS-CoV-2 CTRL Kit)
製品コード	9N78-80_9N78W, 9N78Z
会社名	アボットジャパン合同会社
住所	東京都港区三田三丁目 5 番 27 号
担当部門	カスタマーサポートセンター
電話番号	0120-031441
緊急連絡先	カスタマーサポートセンター 0120-031441
整理番号	CSC567-1

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性 区分外

健康に対する有害性

眼に対する重篤な
損傷性/眼刺激性 区分 1

環境に対する有害性 区分外

ラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報 重篤な眼の損傷

注意書き

保護手袋/保護衣/保護眼鏡を着用すること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

GHS 分類に該当しない 他の危険有害性

本製品の構成品(陽性コントロール)には、ヒト由来および/または潜在的に感染性のある物質が含まれている。ヒト由来物質が完全に感染伝播しないことを保証する試験は知られていない。従って、標準的なバイオセーフティ基準に従い、ヒト由来物質を含む全ての構成品は、潜在的な感染性物質として取り扱うこと。

血液感染性病原体および潜在的感染性物質の想定される感染経路は以下の通りである。

眼/ 皮膚の傷/ 粘膜(鼻、口、喉などの粘膜)/ 非経口接触(注射、穿刺など)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分名（化学名又は一般名）	化学特性	CAS 番号	濃度 又は 濃度範囲	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
水酸化リチウム・一水和物	LiOH・H ₂ O	1310-66-3	0.2%	(1)-712
非公開	非公開	非公開	99.8%	非公開

4. 応急措置

吸入した場合	暴露源から遠ざけること。刺激または毒性の症状がみられる場合は、医師の診察/手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	製品が付着した衣類をすべて脱ぐこと。 陰性コントロールが付着した部位を流水で 15～20 分間洗うこと。陽性コントロールが付着した部位を石鹼と水で洗うこと。刺激または毒性の症状がみられる場合は、医師の診察/手当てを受けること。
眼に入った場合	陽性コントロールが目に入った場合：数分間、水で注意深くすすぐこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。眼刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。取扱い後は手を洗うこと。 痛みなどの症状は遅れて表れる場合があり、症状の過小評価につながる可能性があるため、少なくとも暴露後 48 時間は医学的観察を継続すること。
飲み込んだ場合	水で口をすすぐこと。刺激または毒性の症状がみられる場合は、医師の診察/手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	腎臓への影響、けいれん、胃腸の不調、吐き気、頭痛、方向感覚の喪失、甲状腺反応のおそれ、重篤な眼の損傷、めまい
医師に対する特別な注意事項	製品の構成成分(陽性コントロール)には、ヒト由来および／または潜在的に感染性のある物質が含まれている。使用方法の詳細については、製品の添付文書を参照すること。ヒト由来物質が完全に感染伝播しないことを保証する試験は知られていない。

5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、二酸化炭素、噴射水、または泡消火剤 <ul style="list-style-type: none"> 注意：閉鎖された空間で二酸化炭素を使用する場合には、酸欠を引き起こす可能性があるため、注意すること。 規模の大きい火災の場合：この製品に関連する消火活動の方法を決める際、考慮すべき特有の化学物質や危険な反応性はない。環境に適した消火剤を使用すること。
使ってはならない消火剤	特になし
消火を行う者の保護	規模の大きい火災の場合には、適切な耐熱、耐炎保護衣と呼吸保装置等を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置

陽性コントロールは、潜在的な感染性物質として取り扱うこと。
項目 8.に記載の適切な保護具を使用することにより、暴露を最小限にすること。可能であれば、漏出を止めること。
保護具を着用していない者を近づけないこと。

環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法 及び機材

液体及び蒸気を下水道、排水口、表層水または土壤に浸入させないこと。
少量の漏出の場合はペーパータオル等で吸い取る。
大量の漏出の場合、吸収材で囲って流出を防止する。ペーパータオル、一般的な吸収材、砂、珪藻土、おがくずなどの水性液体に適した吸収材で吸い取ること。

漏出したエリアを清掃すること。温水と合成洗剤または類似の洗剤が適切である。

適切な除染剤を使用すること。血液由来の感染性物質だけでなく、環境への漏出が懸念される微生物由来物質についても効果が期待できる除染剤を選択すること。結核菌に効果を発揮する除染剤は、一般的に既に存在が知られている全てのウイルス及び非孢子形成性細菌にも効果を発揮し、多くの病院環境にも適している。

注：市販の除染剤は製造元の取扱説明書に従って取り扱うこと。除染剤は一般的に多くの化学物質、市販剤および生体組織と反応性を示す危険性のある化学物質である。除染剤を使用する前に、製造元の安全情報を入手し、よく読むこと。

汚染されたものの廃棄については項目 13.を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気・ 全体換気等）

爆発および火災に対する特別な対策は必要ない。

安全取扱い注意事項 接触回避

陽性コントロールは、潜在的な感染性物質として取り扱うこと。
眼への接触を避けること。

保管

安全な保管条件 安全な容器包装材料

保管に関する追加情報は、添付文書または製品ラベルを参照すること。
オリジナルの容器・包装でのみ保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

情報なし

許容濃度

危険有害成分	日本産業衛生学会 (2020年版)	ACGIH (2019年版)
水酸化リチウム・一水和物	1 mg/m ³ (無水物として)	設定されていない

保護具

呼吸用保護具

通常の使用及び保管、または少量の飛沫(例 ペーパータオル等で十分吸い取ることができる量)の場合- よく換気されている室内では必要ない。
その他の異常事態 (例 大量の漏出)、または消火活動などを行う場合 - 化学物質濃度が暴露限界を超えているような場合には、適切な濾過式呼吸用保護具を使うこと。

手の保護具

手に製品が接触する恐れがある場合、不浸透性の手袋を着用すること。使用後の汚染された手袋は、適切な方法で廃棄すること。

眼の保護具

安全眼鏡等を着用すること。液がはねる可能性がある場合、フルフェイスマスクまたはゴーグルを着用すること。

皮膚及び身体の保護具

通常の使用：実験服か他の適切な保護服を着用し、衣服の汚染を防止すること。大量の漏出(例 衣服に浸み込む量)の場合：防水性の保護衣を着用する。

特別な注意事項

製品を使用する場所をいつも清潔に保ち、一般的な注意事項に従うこと。
製品や検体を使用する場所で、飲食を行わないこと、食べ物、飲み物を保管しないこと。休憩開始時、製品や検体を取り扱った後および作業終了時には手を洗うこと。

潜在的感染性物質と取り扱いについては、一般的な予防措置及び適切なバイオセイフティ基準に従うこと。

眼への接触を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

製品として

外観	
形状	液体
色	無色
臭い	無臭
pH	7.3 (20°C)
融点／凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	引火性なし
自然発火温度 (発火点)	自然発火性なし
燃焼または爆発範囲の上限／下限	爆発の危険性なし
蒸気圧	データなし
比重 (相対密度)	1.009 g/cm ³ (20°C)
溶解性	水に対して：混和することが困難または混和しづらい。
粘度(粘性率)	水に対して：87.4%

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	仕様書通りの使用であれば、分解しない。
危険有害反応可能性	危険有害な反応は報告されていない。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は報告されていない。

11. 有害性情報

製品として

急性毒性	データなし
皮膚腐食性および皮膚刺激性	刺激性なし
眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性	重篤な薬傷。影響は遅れて表れる可能性がある。 重篤な眼の損傷。
呼吸器感作性または皮膚感作性	感作性なし
その他の情報	データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

製品を地下水、水域または下水道に侵入させないようにする。

1 3. 廃棄上の注意

本製品は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

陸上	ADR (欧州危険物道路輸送協定)	該当しない
海上	IMDG (国際海上危険物規則)	該当しない
	海洋汚染物質	非該当
航空	IATA (国際航空運送協会危険物規則)	該当しない
国連分類	該当しない	
国連番号	該当しない	

1 5. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 第 1 号、第 2 号別表第 9)	水酸化リチウム・一水和物 (政令番号：560)
---------	--	----------------------------

1 6. その他の情報

連絡先 お問い合わせの第一報は、カスタマーサポートセンター：0120-031441 まで。

その他 この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには充分注意してください。

なお、含有量、物理/化学的性質、危険有害などの記載内容は、情報提供を目的とするものであり、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の実用性を対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。

また、この安全データシートの内容について、特に混合物の場合には、成分の濃度等を考慮した上でご閲覧ください。